

280MHz デジタル同報無線 — 大災害時の通信確保

かつてのポケベルは危機管理のツールとなり、防災ラジオ型戸別受信機(音声配信)や Android タブレット型戸別受信機(音声と文字情報)に形を変えた。情報は、地上回線(インターネット)と衛星回線の2重のルートを経て、ポケベル電波(280MHz)で配信される。平時ではなく有事を想定した通信がここにある。

Beeper once popular among female high school student 20 years ago is now the tool of communication in crisis, some become a Bousai-Radio type receiver with speech conversion system and some become receiver incorporated in the Android tablet PC. Information will be conveyed to 280MHz beeper stations through satellite circuit and internet and delivered to beepers by 280MHz air wave with output power more than 100W.

Here, we have a telecommunication system elaborated to work in time of emergency.

【地域情報配信システム】

- PCが発信基地 (PCがそのまま指令卓)
- 市区町村庁舎・行政施設・原発施設などに280MHz送信局を設けて強力なポケベル波で地域一体を守る
- 大災害時に輻輳が生じず、地上回線の寸断や大停電にも耐える通信システム
- 中央配信サーバの2重化(横浜と池袋)と通信ルートの2重化(衛星回線とインターネット回線)
- 燃料供給なしで3週間の停電に対応できる衛星管制センターに配信サーバを設置
- 戸別受信機で屋内の住民に確実に情報伝達(停電時にはバッテリーや電池駆動)



【戸別受信機】 建物内部に浸透する280MHzポケベル波

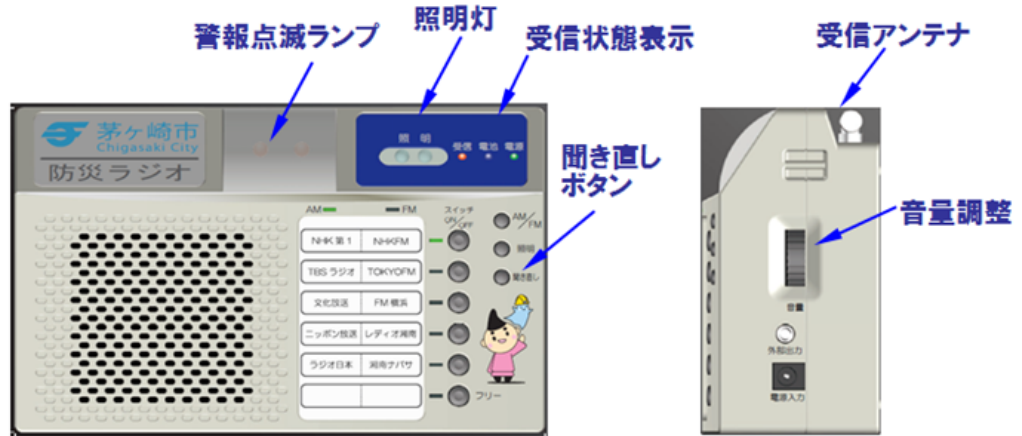
防災ラジオ型戸別受信機(音声): いつも身近にあって生活の一部。しかし、緊急時には停電していても強制着呼で防災情報を伝えてくれる。

①ラジオをつけているときもOFFの状態でも、防災情報を受信すれば強制起動し読み上げる。

②読み上げの前にチャイム音からスタート。緊急情報の場合は警告ランプ点滅。

③次の受信までは何度でも再生・聞き直しが可能、次の受信があれば文字データは上書きされる。

④グループ設定が可能



チャンネル: プリセットでボタン選局+自由選局

【本体サイズ:185(W)×115(H)×62(D)、650g】

電池で3日稼働。

戸別受信機(音声と文字): 平時は天気予報やニュースが流れている。行政連絡あれば着信灯が受信を知らせてくれる。過去の着信内容は何度でも見ることができる。注意報のときは文字に加え音声流れる。そして、緊急時には、アラーム音とともに警報ランプが点滅し、最大音量で音声流れ自治体防災担当部署からの緊急情報を知らせてくれる。停電時はバッテリー駆動。



【本体サイズ:220(W)×160(H)×25(D)、800g】

【導入実績】

江東区様 2006年4月～
茅ヶ崎市様 2008年1月～
豊島区様 2008年2月～

【新製品】

専用戸別受信機と同等の機能で価格25,000円
(受注受付中 納品2014年2月)

7インチAndroidタブレット型 + 280MHz受信機

【本体サイズ:189(W)×118(H)×11.5(D)、305g】

【本体サイズ:85(W)×470(H)×13(D)、60g】



東京テレメッセージ株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋3-8-1第二鈴丸ビル2F

TEL:03-5733-0247

D-FAX:020-4622-9607